

令和6年度事業報告

【概要編】

※_____は、特記事項等

《Ⅰ 公益目的事業》

1 適正処理推進事業

(1) 不法投棄防止活動

①統一パトロール及びキャンペーン事業への参加協力

6月の環境月間や12月の不法投棄撲滅強化月間を中心に、静岡県等が実施する不法投棄防止統一パトロール及びキャンペーンに支部毎に取り組み、役員等計136名が参加協力した。

②不法投棄防止広報啓発活動の実施

西部支部では、12月の不法投棄撲滅強化月間において、浜松市と共同で製作した不法投棄防止啓発動画を浜松市内の街頭モニター等で放映した。

③不法投棄廃棄物の撤去作業等の実施

不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、4支部が県健康福祉センターや最寄りの市などの協力を得ながら役員や会員等計167名の参加により、県内5か所の不法投棄廃棄物の撤去作業等に取り組んだ。

また、今年度も、富士支部が県の富士山麓不法投棄廃棄物撤去事業に協力した。

④不法処理防止に関わる情報収集

中部四県「産業廃棄物不法処理防止連絡協議会」合同会議や静岡県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会に出席し、不適正処理事案や不法投棄対策事例などの不法処理防止に関わる情報収集に努めた。

(2) 災害対策支援事業

①災害廃棄物処理実地研修の開催

令和6年12月24日に、富士市災害廃棄物仮置場訓練会場の場において災害廃棄物処理実地研修を開催し、会員及び行政機関職員等97名が参加した。

②災害廃棄物処理情報伝達訓練等の実施

令和7年1月17日から1月24日にかけて、災害廃棄物処理協力会員を対象に災害廃棄物処理情報伝達訓練及び資機材調査を実施した。

③災害廃棄物仮置場設置・運営訓練の実施

東部支部、富士支部及び中遠支部では、支部管轄の自治体と協力し、災害廃棄物仮置場の設置・運営訓練を実施した。

④災害廃棄物対策勉強会等の開催

東部支部、中部支部及び西部支部では、会員を対象とした災害廃棄物対策に関する勉強会や研修会をそれぞれ開催した。

⑤県及び市町との連携の強化

県職員又は市職員との意見交換や、県主催の市町職員向け研修会事業への参加などにより、協会と県市町との連携の強化に努めた。

⑥災害廃棄物処理に関わる情報収集

大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会や中部地域協議会災害廃棄

物支援協定担当者会議に出席し、災害廃棄物処理広域連携に関わる情報収集に努めた。

2 適正処理啓発事業

(1) 小学生の親子を対象とした環境学習「ぼくらはさんばい探偵団」の実施

平成5年度から実施している、「ぼくらはさんばい探偵団(夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会)」は、7支部8コースで実施し、小学生の親子等計108組236名が参加した。

(2) 大学生を対象とした処理施設視察会の実施

「ぼくらはさんばい探偵団」の大学生版として、静岡県立大学の学生を対象に実施し、学生等32名が参加した。静岡県立大学ではこの視察会がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

(3) 環境イベント等への参加による啓発活動

中部支部及び志太榛原支部の役員や会員が最寄りの市等が実施するイベント等に参加し、不法投棄の防止や3Rの推進などの啓発活動を行った。

西部支部では、浜松市内において、会員企業23社の環境等報告書の啓発展示を実施し、地域生活環境の保全や3R活動等の普及啓発を行った。

3 能力開発支援事業

(1) 全国的な会議等への参加による情報収集

(公社)全国産業資源循環連合会や中部地域協議会等が実施する全国的な各種会議等(計12回Web会議を含む。)に役員等が積極的に参加し、意見交換や情報収集に努めた。

(2) タイムリーな情報提供、相談への随時対応

ホームページやメールなどにより、タイムリーな情報提供に努めるとともに、許可手続、適正処理、リサイクルなどの相談にも随時対応した。

(3) 各種講習会・研修会の開催

専門性の高い知識習得のための専門部会の勉強会、労働災害防止を図るための「安全衛生講習会」、産廃処理業者優良認定制度の普及促進に向けた「排出事業者向け普及啓発講習会」等を会場又はオンラインにより6回開催し、296名の参加があった。

(4) 専門部会等の活動

医療廃棄物、建設廃棄物、食品廃棄物、中間処理、青年、女性の各専門部会では、オンラインによる幹事会や勉強会の開催、(公社)全国産業資源循環連合会の専門委員会等への参加などを通じて活動した。

建設廃棄物部会では、関係団体と連携し、再生砕石事業者によるコンクリートがらの受入規制問題に対応した。

(5) 「しずおかの産廃」発行等事業

協会機関誌「しずおかの産廃」及び「産廃技術ニュース」を年4回発行し、各種情報を提供した。

(6) 人材確保育成事業

産業廃棄物に係る分野での人材育成を目的に、県内4校の特別支援学校生徒を対象に環境出前講座を実施した。

4 産業廃棄物管理票(マニフェスト)頒布事業

産業廃棄物処理の適正処理を推進するため、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を213,400枚頒布した。

5 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

(公社)全国産業資源循環連合会及び(公財)日本産業廃棄物処理振興センターと協力し、オンライン形式講習会(パソコン等で講義動画を視聴して受講し、会場で試験のみ受ける)14回と対面形式講習会(会場で講義を受講し、試験を受ける)4回の計18回を実施し、1,667名が受験した。

《Ⅱ 会員相互の扶助事業》

1 支部運営事業

(1) 各支部主催の勉強会等の開催

4支部において勉強会、説明会等を5回開催し、474名の参加があった。

(2) 各支部主催の視察研修会

7支部において県内外の優良施設等を対象に視察研修を行い、会員等計92名が参加した。

(3) 第20回産業廃棄物と環境を考える全国大会への参加

令和6年11月15日に岐阜県で開催された第20回産業廃棄物と環境を考える全国大会には、6支部から会員等39名が参加した。

2 意識啓発向上事業

(1) 暴力追放推進事業

令和6年6月12日に暴力追放推進協議会 第24回大会を開催した。

(2) 労働安全衛生事業

産業廃棄物処理業における労働安全水準のなお一層の向上を図るため、第3次労働災害防止計画(令和5年度～令和7年度)を推進した。

(3) 表彰

①会長表彰

令和5年度会長表彰に、功労者表彰7名、優良従事者表彰7名、優良事業所表彰1社、安全優良職長表彰1名、安全優良事業所表彰1社が受賞した。

②(公社)全国産業資源循環連合会会長表彰

令和6年度(公社)全国産業資源循環連合会会長表彰に、当協会関係では、功労者表彰1名、地方功労者表彰2名、優良事業所表彰1名、地方優良事業所表彰1名、優良従事者表彰1名が受賞した。

(4) 人材確保育成事業

令和6年9月25日に新任担当者向け「産業廃棄物処理基礎講座」を開催し、会員企業の新任担当者等58名の参加があった。

〔主な事業実績〕

事業名等		令和 6年度 (A)	令和 5年度 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
公益 目的 事業	不法投棄防止活動				
	県等主催不法投棄防止 パトロール等 参加者数	136 名	101 名	35 名	7 支部で実施 撲滅キャンペーン (P6～P7)
	不法投棄撤去作業 参加者数 不法投棄撤去作業 箇所 数	167 名 5 箇所	88 名 4 箇所	79 名 1 箇所	4 支部で実施 (P7)
	災害対策支援事業				
	情報伝達訓練 登録会員 数 調査票回収率	292 社 77.4%	304 社 78.0%	△12 名 △0.6 P	(P8)
	ぼくらはさんばい探偵団 参加者数	236 名	205 名	31 名	7 支部で実施 (P9～P10)
	施設見学会大学生等 参加者数	32 名	48 名	△16 名	静岡県立大学 (P10)
	環境イベント等啓発活動 参加者数	23 社 14 名	24 社 20 名	△1 社 △6 名	4 支部で実施 (P10)
	講習会等				
	各種講習会等	6 回 296 名	8 回 228 名	△2 回 △68 名	環境管理講座の実施等 (P11～P12)
会員 相互 の扶 助事 業	業許可等講習会	18 回 1,667 名	27 回 1,606 名	△9 回 61 名	(P15)
	マニフェスト頒布枚数	213,400 枚	209,000 枚	4,400 枚	(P15)
	各支部の勉強会等	5 回 474 名	7 回 564 名	△2 回 △90 名	4 支部（オンライン等） で実施 (P16)
	表彰件数	23 件	23 件	0 件	知事褒賞、会長表彰、全産連会長表彰 (P17～P18)
	会員数	1,001	1,016	△15	(P21)

【詳細編】

I 公益目的事業

1 適正処理推進事業

(1) 不法投棄防止活動事業

- ① 支部役員等が5月30日～6月5日のごみ減量・リサイクル推進週間及び6月の環境月間に静岡県等の実施する統一パトロールに参加、協力した。

i) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：令和6年5月30日

実施機関		場 所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員 2名
	東部 //	沼津市、御殿場市、裾野市、伊豆市、長泉町	東部支部役員 10名
	中部 //	島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部会員等 21名
	西部 //	磐田市	中遠支部役員 1名
浜松市		浜松市	西部支部役員等 15名
計			49名

- ② 支部役員等が12月の不法投棄撲滅強化月間に静岡県の実施する不法投棄防止統一パトロール及びキャンペーン事業に参加、協力した。

i) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：令和6年12月3日

実施機関		場 所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員 3名
	東部 //	沼津市、御殿場市、裾野市、伊豆市、長泉町、三島市	東部支部役員 10名
	中部 //	島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部会員等 21名
	西部 //	磐田市	中遠支部役員 1名
計			35名

ii) 不法投棄撲滅街頭キャンペーン

実施日：令和6年12月6日

実施機関		場 所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	東急ストア下田店	伊豆支部役員 3名
	東部 "	J R 沼津駅南口	東部支部役員等 8名 富士支部役員 6名
	中部 "	J R 藤枝駅	志太榛原支部会員等 15名
	西部 "	J R 磐田駅	中遠支部役員等 7名
	廃棄物リサイクル課	J R 静岡駅	中部支部役員等 13名
計			52名

iii) 街頭モニターを利用した不法投棄防止広報啓発

西部支部では、12月の不法投棄撲滅強化月間において、浜松市と共同で製作した不法投棄防止啓発動画を浜松市内の街頭モニター等で放映した。

- ③ 不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、各支部において最寄りの行政機関等の協力を得て不法投棄廃棄物の撤去・処分作業等を実施した。

支部名	実施日	実施機関	場 所	実 績	参 加 者
東部	令和7年 2月14日	東部支部 静岡県	沼津市 西野	混合廃棄物 8 m ³	東部支部役員 静岡県職員等 25名
富士	令和6年 11月20日	富士支部 静岡県	富士宮市 山宮	建設系混合廃棄物 52.05 t	富士支部役員 静岡県職員等 33名
中部	5月30日	中部支部 静岡市	静岡市 葵区	可燃・不燃ごみ等 510 kg	中部支部役員 静岡市職員等 27名
	12月4日	中部支部 静岡市	静岡市 清水区	可燃・不燃ごみ等 2 m ³	中部支部役員 静岡市職員等 20名
志太 榛原	11月9日	志太榛原支部	島田市	可燃ごみ等 2550	志太榛原支部会員企業の社員 及びその家族等 62名
計					167名

- ④ 令和6年5月9日に静岡市で開催された中部四県「産業廃棄物不法処理防止連絡協議会」合同会議に正副会長、適正処理委員長が出席し、国、中部四県(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)及び中部四県の政令市並びに中部四県協会等の産業廃棄物不法処理防止に係る取り組み等について情報共有した。

- ⑤ 令和6年5月9日に静岡市で開催された静岡県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会に事務局が出席し、静岡県及び政令市並びに静岡県警察本部等と産業廃棄物不法処理防止に係る取り組み等について情報共有した。

- ⑥ 令和7年3月17日に適正処理委員会を開催し、適正処理事業等について協議した。

(2) 災害対策支援事業

① 災害廃棄物処理実地研修の開催

災害廃棄物仮置場運営業務について理解を深めるための「災害廃棄物処理実地研修」を富士市、富士支部及び青年部協力のもと富士市内で開催した。

開催日	内 容	参加者
令和6年 12月24日	研修場所／富士市災害廃棄物仮置場訓練会場 (俵石スポーツ広場) ＊訓練実施者：富士市、富士支部	会員、県市町担当職員等97名

② 災害廃棄物処理等情報伝達訓練の実施

令和7年1月17日から1月24日にかけて、災害廃棄物処理協力会員292社を対象に災害廃棄物処理情報伝達訓練及び資機材調査(調査票回収率77.4%)を実施した。

③ 災害廃棄物仮置場設置・運営訓練の実施

支部と支部管轄の自治体との協力により、災害廃棄物仮置場の設置業務や運営業務にかかわる一連の手順を確認するための訓練を実施した。

実施者	実施日	訓練場所	参加者
三島市 東部支部	令和6年 12月13日	三島市清掃センター (三島市)	東部支部役員、三島市職員等 23名
富士市 富士支部	12月24日	俵石スポーツ公園 (富士市)	富士支部会員、富士市職員等 34名
磐田市 中遠支部	11月30日	豊田天竜川グラウン (磐田市)	中遠支部会員、磐田市職員等 33名
計			90名

④ 災害廃棄物対策勉強会等の開催

各支部において、災害廃棄物処理支援事業の実効性の確保と対応能力の向上を目的とした勉強会、研修会を開催した。

支部名	開催日／場所	内容	参加者
東部	令和6年10月10日 三島市文化会館(三島市)	・災害廃棄物処理基礎講座 ・グループワーク	東部支部会員、市町職員等 39名
中部	10月15日 静岡県産業経済会館(静岡市)	・災害時の仮置場の開設から 運営の流れ等について	中部支部会員 10名
西部	令和7年1月28日 天竜エコテラス(浜松市)	・災害廃棄物仮置場現地確認 ・意見交換	西部支部会員 28名
計			77名

⑤ 災害廃棄物処理受託体制情報の更新

令和6年7月に各支部の災害廃棄物処理業務の受託体制を更新し、県及び関係市町と共有した。

- ⑥ 令和6年7月12日、適正処理委員会及び青年部会との合同委員会を開催し、静岡県担当職員同席のもと災害廃棄物処理業務委託手続きに関わる課題への対応等について意見交換した。
- ⑦ 令和6年12月19日、令和7年3月6日に災害対策委員会を開催し、災害廃棄物対策支援事業等について協議した。
第1回委員会では、静岡市担当職員と災害廃棄物処理業務の委託手続きの課題等について意見交換した。
- ⑧ 令和6年5月31日に静岡市内で開催された災害廃棄物処理に係る初任者研修会（主催：静岡県）において、災害対策委員が市町職員に対して協会の災害廃棄物処理支援事業等について説明した。また、令和7年2月21日に静岡市内で開催された静岡県災害廃棄物処理研修（主催：静岡県）に支部災害廃棄物担当役員等9名が参加した。
- ⑨ 令和6年11月11日に滋賀県で、令和7年2月19日にオンラインで、それぞれ開催された環境省中部地方事務所主催の「大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会」に専務理事が出席した。
- ⑩ 令和7年2月3日に愛知県豊橋市内で開催された中部地域協議会災害廃棄物支援協定担当者会議に専務理事及び担当事務局員が出席し、中部四県の協会が実施する災害廃棄物処理支援事業等について情報交換した。

2 適正処理啓発事業

(1) ぼくらはさんばい探偵団事業

- ① 身近な環境学習の場の提供として、令和6年7月26日から8月7日にかけて、「ぼくらはさんばい探偵団(夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会)」を全7支部で実施(中部支部は静岡地区、清水地区に分けて実施)し、小学生の親子等108組236名が参加した。

支部名	開催日	見 学 先	参加者数
伊豆	令和6年 8月2日	・(株)エコネコル ・アサヒ飲料(株)富士山工場	6組 16名
東部	7月31日	・アサヒ飲料(株)富士山工場 ・(株)エコネコル	14組 29名
富士	8月2日	・はごろもフーズ(株)新清水プラント ・(株)稲葉商店	10組 26名
中部 (静岡地区)	7月26日	・はごろもフーズ(株)新清水プラント ・丸徳商事(有)	11組 22名
中部 (清水地区)	7月31日	・はごろもフーズ(株)新清水プラント ・丸徳商事(有)	13組 30名
志太榛原	8月2日	・(株)明治 東海工場 ・環境のミカタ(株)	19組 39名
中遠	7月30日	・(株)ロック・フィールド静岡ファクトリー ・(株)富士エコサイクル	16組 36名

西部	8 月 7 日	・ハウス食品(株)静岡工場 ・(株)富士エコサイクル	19 組 38 名
計			108 組 236 名

- ② 参加した小学生の親子から感想文を募集して、文集 CD「ぼくらはさんぱい探偵団」として取りまとめ、感想文提出者をはじめ、視察先及び関係機関等に配布した。また、本年はポスター原画と標語の募集を行い、ポスター45 点、標語 32 点の応募があった。

(2) 産業廃棄物処理施設視察会事業

「ぼくらはさんぱい探偵団」の大学生版として、静岡県立大学の学生等を対象に産業廃棄物処理施設等視察会を実施した。静岡県立大学では、本事業がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

実施日	視 察 先	参 加 者
令和 6 年 11 月 28 日	・(株)いちまる 食品事業本部 ・環境のミカタ(株)	静岡県立大学大学院食品栄養科学部 環境生命科学科生及び教員 32 名

(3) 展示会等出展事業

各支部において最寄りの市等が実施する環境イベント等に出展・参加し、不法投棄の防止や 3 R の推進などの啓発活動を行った。

支部名	実施日	イベント・内容	参加者
富士	令和 6 年 11 月 20 日	「富士市産業まつり商工フェア」 (富士市中央公園) ・環境クイズ	荒天のため 中止
中部	10 月 20 日	「第 24 回興津産業フェア」 (興津国際隆津センター) ・静岡市ごみリサイクル展事業に協力	支部役員等 3 名
	11 月 3 日	「大道芸ワールドカップ in 静岡 2024」 (駿府城公園) ・静岡市ごみリサイクル展事業に協力	支部役員等 2 名
志太榛原	11 月 24 日	「SBS わんぱくフェスタ」 (SBS マイホームセンター藤枝展示場) ・環境クイズ	支部役員等 9 名
西部	7 月 23 日 ～ 9 月 8 日	「環境等報告書の展示」 (浜松市西部清掃工場) ・環境経営や環境保全活動等の普及啓発	会員企業 23 社
計			14 名 23 社

3 能力開発支援事業

(1) 各種会議等への参加による情報収集

【(公社)全国産業資源循環連合会関係】

開催日	開催場所	会 議 名	参加者(協会)
令和6年 4月18日	岐阜県	中部地域協議会第1回専務理事会議	専務理事
6月14日	東京都	第14回定時総会	会長、専務理事、 理事
9月3日	愛知県	中部地域協議会 臨時会長会議	会長、専務理事
9月20日	愛知県	中部地域協議会 第1回全体会議	会長、副会長、 専務理事
11月15日	岐阜県	第20回産業廃棄物と環境を考える 全国大会	会長、副会長、 専務理事、会員
11月21日	Web 会議	中部地域協議会第2回専務理事会議	専務理事
令和7年 1月10日	東京都	新年賀詞交換会	会長、専務理事、 理事
2月3日	愛知県	中部地域協議会第3回専務理事会議	専務理事
2月4日	Web 会議	全国正会員事務局責任者会議	専務理事
2月17日	静岡県	中部地域協議会 第2回会長会議	会長、専務理事
		中部地域協議会 第2回全体会議	会長、副会長、 専務理事、理事
2月19日	東京都	全国正会員会長会議	会長

(2) 産業廃棄物処理業許可指導・相談事業

ホームページやメールなどにより適正処理やリサイクル等に関する最新の情報を提供したほか、許可手続等に関する相談を協会本部で電話等により随時対応した。

(3) 講習会事業

①廃棄物処理法等関係法令講習会

開催日	開催方法	内 容	受講者
令和6年 6月18日	オンライン	○産業廃棄物処理施設設置許可手続きに関する講習会 *主催：中間処理部会	63名
10月6日	静岡市	・第六次環境基本計画の概要 ・J-クレジット制度の活用 *共催：静岡県環境保全協会 (一社) 静岡県環境資源協会	61名

②優良認定制度に関する研修会【県産廃処理業者優良認定推進委託事業】

i) 優良産廃処理業者認定準備研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和6年 12月6日 12月17日	静岡市	産廃情報ネットを利用した情報公表のための入力作業を行い、優良廃棄物処理業者認定制度の認定基準のひとつ「事業の透明性」への適合を目指す実践形式の研修会	28名

ii) 排出事業者向け普及啓発講習会

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和6年 10月23日	静岡市	- 排出事業者のための優良産廃処理業者認定制度 - 事業者の取り組み「明電舎(株)」「スズキ(株)」 - グループワーク「産業廃棄物の適正な処理委託」 - 静岡県からお知らせ	27名

③安全衛生講習会

開催日	開催方法	内 容	受講者
令和7年 3月5日	オンライン	テーマ「産業廃棄物処理業における組織的な安全衛生教育」 ・産業廃棄物処理における安全衛生活動 ・経営者トップによる安全衛生方針の表明 ・未熟練労働者に対する安全衛生教育 ＊受講者に受講修了書を発行	52名

④不当要求防止責任者講習会

企業対象暴力への対策として、県警察本部及び公益財団法人暴力追放運動推進センターの協力のもと開催

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和6年 12月5日	静岡市	- 暴力団情勢、暴力団対策法、県暴力団排除条例の概要 - 反社会的勢力への対応要領等 ＊受講者に受講修了書を発行	65名

(4) 専門部会活動事業

①医療廃棄物部会

- i) 令和6年8月8日、令和7年3月10日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和6年9月6日に東京都内において、東京都産業資源循環協会、神奈川県産業資源循環協会及び当協会との医療廃棄物合同懇談会が開催され、1都2県協会の会員等28名参加のもと、医療廃棄物処理業者が抱える課

題への対応等について意見交換した。

- iii) 令和6年10月16日に袋井市で開催された「静岡県特定家畜伝染病防疫演習（主催：静岡県）」には、県からの要請を受けて部会員企業2社が演習業務に従事した。

②建設廃棄物部会

- i) 一般社団法人静岡県解体事業協会と連携し、再生砕石事業者（産業廃棄物中間処理業）によるコンクリートがらの受入規制問題に対応した。
この一連の取り組みとして、令和6年9月に再生砕石事業現状把握調査を実施、11月19日に一般社団法人静岡県解体事業協会理事長と部会幹事との意見交換を実施、更には令和7年3月13日の静岡県建築管理局長及び関係課担当者と静岡県解体工事業協会との意見交換の場に部会長及び専務理事が出席するなど、状況の改善に努めた。
- ii) 令和6年8月27日、11月19日、令和7年2月25日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- iii) 令和7年2月25日総会をオンラインで開催し、部会事業等について協議した。
- iv) 令和6年9月に、静岡県からの依頼を受けて、建設廃棄物を取扱う部会員30社を対象に建設副産物の処理費等を調査した。
- v) 令和6年9月10日の(公社)全国産業資源循環連合会建設廃棄物運営委員会に部会長がオンラインで出席した。

③食品廃棄物部会

- i) 令和6年9月13日に静岡市内で幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 幹事会において、静岡県交通基盤部都市局生活排水課担当者と静岡県経済産業部農業局食と農の振興課担当者と静岡県における下水汚泥資源の肥料利用に関する施策等について意見交換した。

④中間処理部会

- i) 令和6年6月18日に産業廃棄物処理施設設置許可に関する講習会をオンラインで開催し、会員54名が参加した。

⑤青年部会

- i) 令和6年4月11日、5月31日、6月6日、7月4日、8月1日、9月5日、10月3日、11月7日、12月5日、令和7年1月15日、2月7日、3月6日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和6年5月31日に総会を開催し次期運営体制や部会事業等について協議した。総会後には、中部ブロック総会も同日開催した。
- iii) 令和6年7月19日に勉強会を開催した。内容は「障害者雇用を学ぶ～新しい仲間と出会う為に～」とし、第1部は「障害者雇用について」をNPO法人オールしずおかベストコミュニティ 小代田氏、(株)アストコ石田氏より、第2部は「障害者雇用から学んだこと」を(株)リサイクルクリーン 増田氏、(有)塚本商店 塚本氏よりご講演いただいた。
- iv) 令和6年9月27日に視察研修会を開催した。研修会は中部ブロック、

北海道・東北ブロック合同で行われ、秋田県の㈱ウェンティ・ジャパン、秋田洋上風力発電㈱を視察。静岡県からは13名が参加した。

- v) 令和6年10月18日に、青森県青年部と合同で視察研修会を開催。研修会では㈱アサギリ、ガイアフロー静岡蒸留所を視察した。
- vi) 令和6年2月7日に意見交換会を開催し、非部会員も招き、青年部会の事業について意見交換を行った。

⑥女性部会

- i) 令和6年7月2日、令和7年1月15日に幹事会をオンラインで開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和7年2月13日に会員11名が参加し、部会総会を開催して部会事業等について報告した。
- iii) 令和6年10月11日に静岡市葵消防署員を講師に招き、応急手当講習会を開催した。

(5) 協会機関誌「しずおかの産廃」発行等事業

- ① 協会機関誌「しずおかの産廃」を年4回発行し、協会本部や各支部の活動状況、行政機関から寄せられた情報等に関する各種情報を提供した。
- ② 「産廃技術ニュース」を年4回発行し、産業廃棄物の処理技術、処理施設に関する各種情報を提供した。
- ③ 令和6年5月10日、9月6日、12月13日、令和7年3月7日に広報委員会を開催し、機関誌等の発行をはじめ、産業廃棄物処理施設等視察会の実施計画、人材確保育成事業等について協議した。
- ④ 当協会ホームページ内の会員専用ページにおいて、政策情報や助成制度情報などの有用な環境情報を適宜発信した。

(6) 人材確保育成事業

令和6年7月18日、9月18日、12月6日、令和7年1月24日に県内4校（浜松、中央、東部、浜北）の特別支援学校を対象に環境出前講座を行った。
(主体 青年部会)

特別支援学校での環境出前講座

開催日時	校名及び人数	座 学	体験学習
令和6年 7月18日	浜松特別支援学校 高等部 112人	・リサイクル、不法投棄、海洋プラ汚染、SDGs、3Rについての話 ・リサイクルクイズ ・廃棄物の分別体験	・パッカー車紹介 ・パッカー車積込体験
9月18日	静岡中央特別支援学校 小学部 座学 8人 積込体験 32人	・廃棄物、不法投棄、SDGs、リサイクル、海洋プラスチックについての話 ・リサイクルクイズ	・パッカー車紹介 ・パッカー車積込体験
12月6日	東部特別支援学校 中学部・高等部 8人	・不法投棄、海洋プラ汚染、リサイクルについての話 ・リサイクルクイズ ・循環型社会の話	・パッカー車積込体験 ・廃棄物の分別体験 ・パッカー車乗車体験

令和7年 1月24日	浜北特別支援学校 中学部 21人	・不法投棄、海洋プラ汚染、リサイクルについての話 ・廃棄物の分別体験 ・リサイクルクイズ	・パッカー車積込体験 ・パッカー車乗車体験
---------------	---------------------	--	--

4 産業廃棄物管理票(マニフェスト)頒布事業

産業廃棄物処理における適正な管理を推進するため、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を頒布した。

【令和6年度実績】

種 類	頒 布 枚 数 (枚)
産業廃棄物管理票	156,500
建設マニフェスト	56,900
合 計	213,400

5 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

(1) 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

- ① (公社)全国産業資源循環連合会及び(公財)日本産業廃棄物処理振興センターと協力し、オンライン形式講習会と対面形式講習会の試験を計18回開催し、計1,667名の参加があった。

【受講状況】

形式	種 類	開催回数	参加者(名)
オンライン	【新規】産業廃棄物収集運搬課程	2	254
	【新規】産業廃棄物処分課程	1	14
	【新規】特別管理産業廃棄物収集運搬課程	1	24
	【新規】特別管理産業廃棄物処分課程	1	8
	【更新】産業廃棄物収集運搬課程	4	445
	【更新】産業廃棄物処分課程	2	104
	特別管理産業廃棄物管理責任者	3	326
対面	【新規】産業廃棄物収集運搬課程	1	125
	【更新】産業廃棄物収集運搬課程	2	244
	特別管理産業廃棄物管理責任者	1	123
計		18	1,667

- ② 令和7年2月26日にWeb会議で開催された「2025年度許可講習会における事務取扱説明会(主催:(公財)日本産業廃棄物処理振興センター・(公社)全国産業資源循環連合会)」に事務局が出席し、情報交換等を行った。

Ⅱ 会員相互の扶助事業

1 支部運営事業

各支部(伊豆、東部、富士、中部、志太榛原、中遠、西部)では、支部の運営、適正処理、広報の3委員会のもと、支部独自または本部との連携により、各種事業を実施した。

(1) 支部総会及び支部委員会の開催

支部総会……………各支部6月に開催

支部委員会……………随時

(2) 「支部だより」の発行

伊豆支部、志太榛原支部で発行

(3) 勉強会等の実施

支部名	開催日	内 容	参加者
東部	令和6年 6月7日	「講演会」 ・人材定着・育成のコツ	29名
	10月10日	「勉強会」 ・災害廃棄物処理勉強会	39名
富士	令和7年 3月24日	「合同勉強会」 ・災害発生！その時どう行動しますか？ ～個人として、企業として～	23名
志太榛原	令和6年 6月6日	「勉強会」(ハイブリッド形式) ・働き方改革の概要と自動車運転者の2024年問題 ・新NISAについて	41名
西部	令和7年 3月14日	「産業廃棄物適正処理に係る説明会」(オンライン) ・産業廃棄物の基礎 ・クイズで学ぶ廃棄物管理 ・浜松市の脱炭素経営支援 *共催：浜松市	342名
計			474名

(4) 優良施設視察研修会の実施

支部名	開催日	見 学 先	参加者
伊豆	令和6年 11月7日 ～ 8日	・J&T環境(株)エコクリーン(神奈川県) ・(株)グリーン本社工場(横浜市)	10名
東部	11月13日	・芝浦機械(株)(沼津市)	13名
富士	10月28日 ～ 29日	・旭化成(株)守山製造所(滋賀県) ・(株)近江物産(滋賀県)	10名
中部	5月22日	・2024NEW環境展(東京都)	19名

志太榛原	5月23日	・2024NWE環境展（東京都）	11名
中遠・西部	5月24日	・2024NEW環境展（東京都）	20名
	7月19日	・天竜エコテラス（浜松市）	9名
計			92名

（５）第20回産業廃棄物と環境を考える全国大会への参加

令和6年11月15日に岐阜県で開催された第20回産業廃棄物と環境を考える全国大会（主催：（公社）全国産業資源循環連合会、（公財）産業廃棄物処理振興センター、（公財）産業廃棄物処理事業振興財団）には、協力団体の一員として6支部から会員等39名が参加した。

2 意識啓発向上事業

（１）暴力追放推進事業

- ① 令和6年6月12日の定時総会開催後に「（公社）静岡県産業廃棄物協会暴力追放推進協議会第24回大会」を開催し、暴力団排除意識の高揚に努めた。
- ② 11月18日に静岡市内で開催された「令和6年度暴力追放・銃器根絶県民大会」に志太榛原支部役員等5名が参加協力した。

（２）労働安全衛生事業

- ① 第3次労働災害防止計画（令和5年度～令和7年度）を運用し、産業廃棄物処理業における労働安全水準のなお一層の向上に努めた。
- ② 令和6年12月に処理業者会員に対して安全衛生活動調査を実施した。
- ③ 令和6年12月9日、令和7年2月19日に安全衛生委員会を開催し、安全衛生事業等について協議した。

（３）表彰

① 会長表彰

令和5年度会長表彰に、功労者表彰7名、優良従事者表彰7名、優良事業所表彰1社、安全優良職長表彰1名、安全優良事業所表彰1社が受賞した。

【受賞者】

（敬称略）

表 彰 名	被 表 彰 者
功労者表彰	芝浦セムテック㈱ 鈴木 邦彦
	富士商工会議所 鈴木 優彦
	静和エンバイロメント 和波 健
	㈱ツムラ静岡工場 枝村 達美
	島田商工会議所 坂田 正彰
	積水ハウス㈱静岡工場 森内 康弘
	本田技研工業㈱トランスミッション製造部 砂野 悟

優良従事者表彰	(株)イーシーセンター 川口 知良
	(株)イーシーセンター 小林 潤
	(株)イーシーセンター 深澤 純一
	(株)イーシーセンター 植松 正行
	丸徳商事(有) 宮崎 覚子
	ヤマハ発動機(株) 村瀬 勉
	スズキ(株) 鈴木 真希子
優良事業所表彰	(株)新光重機土木
安全優良職長表彰	(株)レックス 森下 勝平
安全優良事業所表彰	(株)ハイナン

② (公社)全国産業資源循環連合会会長表彰

令和6年度 (公社)全国産業資源循環連合会会長表彰に、当協会会員の中から、功労者表彰1名、地方功労者表彰2名、優良事業所表彰1名、地方優良事業所表彰1名、優良従事者表彰1名が受賞した。

【受賞者】

(敬称略)

表 彰 名	被 表 彰 者
功労者表彰	土屋建設(株) 久保 幸博
地方功労者表彰	(株)静岡西部建設 梅原 義隆
	市栄産業(株) 市川 智也
優良事業所表彰	東名興産(株)
地方優良事業所表彰	中野町産業(株)
優良従事者表彰	丸徳商事(有) 望月 建生

(4) 人材確保育成事業

新任担当者向けの「産業廃棄物処理基礎講座」

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和6年 9月25日	静岡市	- 産業廃棄物処理法の基礎 - 産業廃棄物の委託処理と委託契約 - 産業廃棄物管理票	58名

Ⅲ 管理運営

1 定時総会・理事会等の開催

(1) 定時総会

令和6年6月12日にグランディエールブクトーカイで令和6年度定時総会を開催し、議案2件を原案どおり決議(承認)した。

また、報告1件を行なった。

【決議事項】

第1号議案 令和5年度事業報告及び令和5年度収支決算書 承認の件

第2号議案 任期満了に伴う役員選任の件

【報告事項】

(1) 令和6年度事業計画書及び令和6年度収支予算書

【出席等】

議決権のある当法人の会員総数 961名

決議に必要な会員数 961名

出席会員数 588名

(議決権行使書面によるもの473名を含む)

(2) 理事会

① 令和6年4月26日にグランディエールブクトーカイで第1回理事会を開催し、議案3件を原案どおり決議(承認)した。

また、報告2件を行なった。

【決議事項】

第1号議案 令和5年度事業報告及び令和5年度収支決算書 承認の件

第2号議案 任期満了に伴う役員選任の件

第3号議案 新規会員の入会承認の件

【報告事項】

(1) 令和5年度下半期事業の実施状況

(2) 中部地域協議会からの「全産連」役員等候補者の推薦

【出席等】

理事総数 28名

決議に必要な理事の数 15名

出席理事数(会場出席) 19名

(Web出席) 2名

出席監事数(会場出席) 1名

② 令和6年6月12日にグランディエールブクトーカイで第2回理事会を開催し、議案4件を原案どおり決議(承認)した。

【決議事項】

第1号議案 会長、副会長、専務理事の選定

第2号議案 副会長の会長職務の代行順序と業務分担

第3号議案 支部長の任命

第4号議案 事務局長の任命

【出席等】

理事総数	28 名
決議に必要な理事の数	15 名
出席理事数（会場出席）	26 名
出席監事数（会場出席）	2 名

- ③ 令和6年10月21日にグランディエールブクトーカイで第3回理事会を開催し、議案1件を原案どおり決議(承認)した。

また、報告3件を行なった。

【決議事項】

第1号議案 新規会員の入会 承認の件

【報告事項】

- (1) 令和5年度上半期事業の実施状況
- (2) 中部地域協議会からの「全産連」役員等
- (3) (公社)静岡県産業廃棄物協会の財政状況と今後の取組(案)

【出席等】

理事総数	28 名
決議に必要な理事の数	15 名
出席理事数（会場出席）	20 名
(Web出席)	6 名
出席監事数（会場出席）	2 名

- ④ 令和7年3月19日に男女共同参画センター あざれあで第4回理事会を開催し、議案4件を原案どおり決議(承認)した。

また、報告3件を行なった。

【決議事項】

- 第1号議案 令和7年度事業計画書及び令和7年度収支予算書の件
第2号議案 令和7年度定時総会の開催の件
第3号議案 新規会員の入会承認の件
第4号議案 令和6年度会長表彰の件

【報告事項】

- (1) 令和7年度「全産連」会長表彰に係る被表彰者の推薦
- (2) 公益法人制度改正と公益法人会計基準改正
- (3) 静岡県への要望書（建設廃棄物部会関係）

【出席等】

理事総数	28 名
決議に必要な理事の数	15 名
出席理事数（会場出席）	18 名
(Web出席)	5 名
出席監事数（会場出席）	2 名

(3) 運営委員会

令和6年4月12日、5月31日（書面表決）、10月8日、令和7年3月4日に運営委員会を開催し、総会及び理事会へ付議する議案等について協議した。

2 新規会員の入会促進と会員管理システムの運用

(1) 新規会員の入会促進

協会ホームページや産業廃棄物処理業許可講習会の場において、新規会員の入会促進に努め、5件の入会があった。

その一方で20件の退会等があったため、令和6年度末の会員総数は1,001会員となった。

【令和6年度会員数の推移】

区 分			令和6年 4月1日	入会	退会	令和7年 3月31日
正 会 員	処 理 業 者	収集運搬	327	2	9	319
		中間処分	308	0	3	306
		最終処分	27	0	1	26
	小 計		662	2	13	651
	排出事業者	排出事業者	280	0	6	274
		団 体	24	0	0	24
	小 計		304	0	6	298
	計		966	2	19	949
賛 助 会 員			50	3	1	52
合 計			1,016	5	20	1,001

※退会等の主な理由

- ・処理業者では、業務縮小、業の廃止等
- ・排出事業者では、事務所等の閉鎖、経費の削減等

(2) 会員管理システムの運用

会員管理システムを適切に運用し、会員の処理業許可更新時期のお知らせや情報配信等に役立てた。

会員サービスのDX化の一環により、会員名簿の発行をデータ発行に切り替えた。

附属明細書

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。